

『世にもあいまいなことばの秘密』 川添 愛

(ちくまプリマー新書・2023.12)

はじめに

- 言葉のすれ違い 対処のためには、言葉を「多面的に見る」必要がある
「あいまいさ」がどういうときに起こるかの知識が役に立つ
- 本書でめざすもの
読者が言葉の曖昧さに少し敏感になり、言葉のすれ違いを早めに察知できるようにすること

1 「シャーク関口ギターソロ教室」・・・表記の曖昧さ

(1) かなと漢字のあいまいさ

- ・「しばいがかった」・・・ 芝居がかった 司馬懿が勝った
- ・「おしょくじけん」・・・ 汚職事件 お食事券
- ・「大人気」・・・ だいにんき おとなげ
- ・夢のジェンヌへ研さん・・・ 熟語の「交ぜ書き」の問題

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②言い換える ③「交ぜ書き」をせず、漢字表記にする

(2) どこで単語を区切るのか

- ・この先生きのこるには
- ・ここではきものをぬいでください
- ・外国人参政権

【私見・解決法】

- ①読点をうつ ②文脈から判断する ③漢字表記にする ④助詞を入れる

(3) 発音すればわかるけど

- ・粒より小餅 アクセントのちがい
- ・それは個人の問題ではないかと思う
- ・低温やけど注意
- ・まだ署名やってるよ

【私見・解決法】

- ①漢字表記にする ②言い換える ③助詞を入れる

2 「OKです」「結構です」・・・辞書に載っている曖昧さ

(1) 肯定的な語義と否定的な語義

・「微妙」の語義（デジタル大辞泉）

- 1 趣深く、何ともいえない美しさや味わいがあること。また、そのさま。みみょう。
「此—な叙景の筆の力が」〈独歩・武蔵野〉
- 2 一言では言い表せないほど細かく、複雑なさま。また、きわどくてどちらとも言い切れないさま。「気持ちが一に変化する」「セーフかアウトか—な判定」「愛国主義と国粹主義の—な関係」
- 3 （「微妙に」の形で）少々。やや。「—に歪んで見える線」「彼の話には—に嘘が混じっている」
- 4 （「ビミョー」と書くこともある）俗に、否定的な気分を婉曲にあらわす語。明言したくないときなどにも使う。「『テストできた?』『—』」

※ 最近は、4の意味で用いられることが多くなってきている

- ・「忖度」 相手の真意を推しはかること
→目上の人間の意向を推測して、その人の都合のいいように取り計らうこと
- ・「煮詰まる」
- ・「こだわり」
- ・「やばい」

語義の変化＝世代差や個人差による「語の意味」のとらえ方のちがい

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②言い換える ③「読者」に配慮する

○【問題】への違和感

①この仕事、適当にやっておいて。

②お菓子を食べてしまった。 【例とは少しずれるのではないか】

(2) 「推量」か「例え」か 多義的な助動詞①

- ・雪が降っているみたいだ。
- ・雪が降っているようだ。

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②「比況」には、「まるで」などをつける。

(3) 受け身、尊敬、可能、自発 多義的な助動詞②

- ・「れる」「られる」の四つの意味 「受け身」「尊敬」「可能」「自発」
- ・部長、あそこに止められますか。 尊敬か可能か
- ・山田先生は道行く人に駅の場所を訪ねられた。 受け身か尊敬か

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②「お～になる」を用いる ③「ら抜き言葉」を用いる

(4) 承諾か断りか 婉曲的な言い回し

- ・「大丈夫です」
- ・「OK です」
- ・「結構です」

※特に、「大丈夫です」の使い方が変化してきている

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②断定的な表現をする

(5) あった？ なかった？ 多義的な動詞

- ・「やらせを疑っていません」

※～を疑う

- ①何か悪いことが起こっている〔悪いものが存在する〕と思う
②～は起こっていない〔～は存在しない・～は正しくない〕と思う

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②「疑う」を用いず他の言葉に置き換える

(6) 「危ない」は危ない 多義的な形容詞

「信用金庫は危ない」

「あのビルは高い」

【私見・解決法】

- ①「何が」そうなのか、きちんと記述する ②文脈から判断する
③他の言葉に置き換える

3 「冷房を上げてください」・・・普通名詞の曖昧さ

(1) 単数か複数か 単数、複数の区別がない普通名詞

- ・友達を連れてくる
 - ・ファンの大歓声の中で・・・
 - ・(野球の)スターティングメンバーを発表する
 - ・優勝者にはトロフィーが贈られます。
- 「たち」「ら」の問題
- ・幼稚園児ら 20 人が感染 「20 人すべてが幼稚園児」か「20 人の一部が幼稚園児」か

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②言い換えをする。【幼稚園児を含む 20 人が感染】

(2) 一部か全体か＝

「カテゴリーに属するもの全般」か「カテゴリーに属するものの一部」か

- ・A 大生は、頭がいい。
- ・日本人は、マナーがよい。

○述語に気をつける。

- ・猫は今、水を飲んでいる。【A】
- ・太郎は猫を動物病院に連れて行った。【A】
- ・猫は、すばしっこい。【B】
- ・猫はマタタビが好きだ。【B】
- ・わたしは、飼い主に忠実な犬が好きだ。【?】

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②述語に気をつける ③一部か全体かをはっきり記述する

(3) 特定のものか、役割・性質か

- ・先生が変わった 新しい人になった 先生の性格が変わった
- ・アメリカ大統領が来日した。 【特定の個人】
- ・アメリカ大統領は、四年ごとに選出される。【役割】
- ・太郎は、猫を飼いたがっている。 特定の猫を飼いたい 特定の猫ではない

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②「特定」であることを明記する

(4) どの側面のことを言っている？

- ・冷房を上げてください。 「冷房」設定温度か装置の出力か
- ・ギターの音を下げてください 「音」音量か音程か
- ・もうちょっと食べるものを増やした方がいいですね。 「食べるもの」量か種類か

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②他の言葉に置き換えて、誤解を招かないようにする

(5) 出来事か物体か

- ・テストがない 試験そのものがない 答案用紙がない
- ・食事、記録、照明 「行為」か「物体」・「結果」か

【私見・解決法】

- ①文脈から判断する ②他の言葉に置き換える

(6) 提喩と換喩

- ・お酒を控えて アルコール飲料か日本酒か
- ※提喩（シネクドキ）「ご飯」炊いたお米→食事全般
- ※換喩（メトニミー）「永田町」場所→政治の世界

【私見・解決法】

- ①文脈から「提喩」「換喩」かどうか判断する

(7) 「誰にとっての」を必要とする名詞

- ・「田中さんと話している女性は？」「奥さんです」

田中さんの奥さんか語り手の奥さんか

【私見・解決法】

①文脈から判断する ②「誰にとって」かを明示する

4 「わたしには双子の妹がいます」・・・修飾語と名詞の関係

(1) 自由すぎる「AのB」

- ・風の谷のナウシカ
- ・魔女の宅急便
- ・天空の城ラピュタ
- ・ハウルの動く城
- ・千と千尋の神隠し
- ・これは誰の絵ですか。
- ・東野圭吾さんのおすすめ小説
- ・胸騒ぎの腰つき

【私見・解決法】

①文脈から判断する ②「の」を用いずに別の言い方をする。

(2) 「AであるB」か「AにとってのB」か

- ・お医者さんの奥さん
- ・いぬのおまわりさん
- ・体操選手の息子が大会で優勝した。
- ・わたしには双子の妹がいます。

【私見・解決法】

①文脈から判断する ②「～である」か「～にとっての」をはっきり明示する

(3) 「行為者」か「行為の対象」か

- ・〇〇氏の名誉棄損
- ・〇〇社の買収
- ・●●国の支配
- ・わが校の教育（行為者）
- ・子どもの教育（対象）
- ・注文の多い料理店 誰による誰に対する行為かを推測する必要

【私見・解決法】

①行為者か行為の対象かをはっきり明示する
～による（行為者） ～に対する（対象）

(4) 「限定的修飾」と「非限定的修飾」

- ・勉強しない大学生

※限定的修飾 非限定的修飾

- ・身体によくない食べ物 限定的修飾
- ・いざというときに必要な非常用設備 非限定的修飾
- ・書類がたくさん入るカバン ○限定的 △非限定的
- ・便利なスマートフォン ○非限定的 △限定的

【私見・解決法】

3(2)と同様に、①すべてか全体かを見極める ②言い換えを試みる

5 「政府の女性を応援する政策」・・・構造的な曖昧さ

句や文の持つ構造＝「構文」の理解 ○「係り受け」の問題 ○「従属節」「関係節」

(1) 修飾先はどれ？

- ・有名な女性の肖像画 有名なのは「女性」か「肖像画」か
- ・政府の女性を応援する政策 「政府の女性」か「政府の政策」か
- ・美しき水車小屋の娘 美しいのは・・・？
- ・あいまいな日本の私 あいまいなのは・・・？
- ・行政に頼らない街づくり

【私見・解決法】

①語順を変える ②読点を打つ ③言い換えをする

(2) 関係節の解釈

- ・太郎が好きな人 どちらがどちらを好きなのか
- ・年賀状を送った人 「送り主」か「受取人」か
- ・本をプレゼントした男性 プレゼントしたのは誰？

【私見・解決法】

①「が」を「の」「を」に変える ②「だれ」かをはっきり明示する ③文を短くする

(3) 従属節の外側か内側か

- ・この映画は一九二〇年代にアメリカで起こった事件を映画化したものです。
1920年代の「事件」か「映画」か
- ・わたしはニューヨークで一流のダンサーになることを誓った。
「ニューヨークで」は、従属節の外側か内側か
- ・この前、姉が薬剤師の友人に良い解熱剤を教えてもらった。
「教えてもらった」のは、だれか。

【私見・解決法】

①語順を入れ替える ②読点をうつ ③文を短くする（2文にする）

(4) 「頭が赤い魚を食べる猫」に挑戦！

○五通りの解釈ができる！

- ・ 解釈 1～3 は、比較的思いつきやすいが、解釈 4 と 5 はどうか。

【全体を通しての感想、素朴な疑問】

① 筆者の「読み誤った」経験は、「ネタ」ではないのか

言語学者らしくない「誤読」の例が多すぎる

② 書名に関して 「世にもあいまいな言葉の秘密」もあいまいな表現？

【世にも】 国語辞典では・・・

- | |
|-------------------------------------|
| 1 非常に。ことのほか。「— 不思議な事件」「— 妙（たえ）なる調べ」 |
| 2 （あとに打消しの語を伴って）決して。 |

※ 「言葉」は、そもそもあいまいなのか

3(2) 「一部か全体か」、4(4) 「限定的修飾、非限定的修飾」参照

【学校教育においては】

本書の例を用いながら、「文法指導」「作文指導」において、活用すべきである。

【参考図書】

- ・ 探検！ことばの世界 大津由紀雄 NHK出版（1996）
- ・ 日本語の作文技術 本田勝一 朝日新聞社（1982）